

事業所名

Withひろば真備

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		利用者、家族、職員、地域の方などすべての人たちとのつながりを大事にし、障がいをお持ちの方が暮らしやすい街づくりに貢献します。					
支援方針		お子様が「わかる!」「できた!」と感じられる経験を大切に積めるようにしています。今必要な力だけではなく、これからの成長を見通して今身につけていきたいことを保護者の方と園の先生方と一緒に考えていけるようにすることを大切にしています。その為に、一人ひとりの発達や特徴を評価し、NCプログラムやTEACCHの考え方等を参考にしながら支援方法を考えていきます。					
営業時間		① 9時00分から	② 13時30分から	12時15分まで	15時45分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日々の健康状態や生活リズムを把握しつつ、基本的な生活スキルが獲得できるような支援を考えます。靴や衣服の着脱、トイレトレーニング、荷物や玩具、道具の片付け、身だしなみへの気付きなどを取り入れています。また、場所の構造化で「どこで何をすべきか」を分かりやすくしたり、スケジュールや手順書を使って見通しをもって活動に取り組みやすくしたりしています。					
	運動・感覚	身体の動きや手先の操作力の向上に楽しく取り組めるような支援を考えます。身体は身体を中心から末端（手先）に向けて発達します。散歩や運動遊びで体幹を鍛えたり、身体の使い方を体験できるようにしています。（活動例：平均台、ポックリ、ビリボ、フラフープ送り、手押し相撲、ボール遊び、輪投げ、ボーリング、なわとびなど）。また、つまむ、丸める、のぼす、道具を使うなどの様々な微細活動も取り入れています。（活動例：スプーン・ピンセット・トンガリ・箸・はさみ・鉛筆などの操作、カップ積み、ポカポンゲーム、色ゴムで遊ぼう、色板構成など）感覚を刺激するような玩具なども準備し、感覚面の成長の促しや緊張をほぐすなどの促しも行っています。					
	認知・行動	今理解できていることを評価して、一人ひとりの理解や特性に合わせた支援を考えます。名詞や、動詞、色や数字、文字、物事のルールや原因などの理解を高めていく為にゲームなどを取り入れています。（活動例：カルタ、箱の中は何が入っているかな？、色探しゲーム、動物に食べさせよう、ビンゴゲーム、身体パズル、旗揚げゲーム、宝探しなど）大人と1対1の場面で取り組んだ後、他児との遊びの場面へと広げていけるようにしています。					
	言語コミュニケーション	お子様がコミュニケーションをとる楽しさや嬉しさを感じることができるよう支援を考えます。必要なお子様には言葉のみではなく、ジェスチャーや要求カードも使いながら自分の思いを伝えられる環境を整えています。（活動例：3語文カルタ、伝言ゲーム、インタビューゲーム、借りてこようゲーム、不足物ふくわらいなど）また、場面に応じた他者への伝え方を一緒に考えた後、実践できる場面を作ったりもしています。					
	人間関係社会性	人との関わりの段階（接近・並行・共有・協力・ルール遊び）を評価して、社会性の段階に合わせた支援を考えます。（活動例：接近段階では、まずは近くに他者がいても安心して遊べた経験を積めるようにしています。並行段階では、同じものを2個用意して相手への気付きを促していきます。共有段階では、事前に約束事を知らせて玩具や道具を共有できるようにしています。協力段階では、目的に向かって協力して活動できるようにしています。ルール遊びでは、公式または自然にできたルールを意識して活動できるようにしています）					
家族支援		○第1・3土曜日AM 親子療育 ○第2土曜日 保護者・きょうだい児参加型療育 ○わくわく子育て勉強会（3回連続） ○かがやき手帳を書く会（年2回）			移行支援		○引継ぎ書類の作成 ○担当者会議への参加
地域支援・地域連携		○園への見学 ○地域の先生方の事業所見学受け入れ ○外部講師講演会（年2回） ○アドバイザー事業への参加			職員の質の向上		○外部の大学教授によるスーパーバイズ ○Withひろば職員合同勉強会 ○月1回 事業所勉強会 ○外部の研修会や講演会への参加
主な行事等		○毎月 季節の制作 ○7月～8月 水遊び週間 ○10月 ハロウィン週間 ○12月 クリスマス週間 ○3月 お楽しみ週間 ○年4回程 クッキング					